

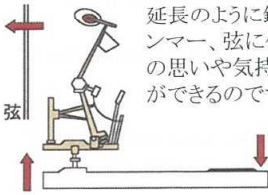
# ココが違う！ピアノとデジタルピアノ

今の時代、何かと比較されがちなピアノとデジタル(電子)ピアノ。やはりそれぞれの特長やメリットがあります。ここでは、この2つを徹底比較いたします！

## ピアノ

### 複雑で精巧な仕組みのアクション

機構が生み出すピアノならではのタッチ感。指先の微妙なタッチが、まるで人間の手の延長のように鍵盤からアクションを通じてハンマー、弦に伝わります。そのため、引く人の思いや気持ちを情感豊かに表現することができるのです。



## タッチ

## デジタルピアノ

### 弦やハンマーといったピアノ独自の機構がない

ピアノに比べ、鍵盤の長さが短く、アクションやハンマーや弦も無いため、指先の微妙な感覚を表現することはピアノに劣ります。ピアノに近いタッチ感を再現してはいても、あくまでピアノの代用品です。



### 音の変化と共に成長を実感

ピアノは響板や弦の共鳴によって、自然で伸びのある豊かな音を響かせます。また音色や音質も弾く人によって無限大に変化します。そのため、お子様の成長や上達によって音の響きや音質・音色も向上し、自身やお子様の成長を実感することが出来るのです。



## 音色

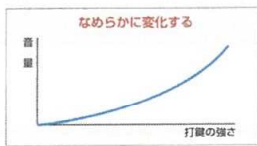
### 誰が弾いても同じ音色…

グランドピアノの音を最新の技術でデジタル録音したものを音源として、それをアンプで増幅し、スピーカーを通して音が出ます。そのため、初心者でもピアニストでも同じ強さで弾けば同じ音が発音され、上達の度合いによる音や響きの向上を感じることはできません。



### なめらかに変化する

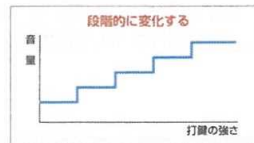
ピアノは音の広がりや伸びが豊かで、心地よい余韻を感じる事が出来ます。また、音の強弱もなめらかに変化し、ダイナミックレンジの幅も広く、豊かな表現が可能です。タッチによる微妙な表情の変化や、弾く人によって音が変わることなどから、ピアノは表現力を養う



## 表現力

### 段階的に変化する

電子ピアノは電子音のため、音の広がりや余韻に乏しく、音の強弱の表現も段階的に変化するため、その幅にも限界があります。指先の微妙な感覚を表現することが難しく、音も上達の度合いに関係なく一定の音が発音される等、演奏する上での表現力はピアノには適いません。



### 成長に合わせて未永く愛用できる

ピアノは非常に耐久性の高い楽器です。磨耗部分の取替えや定期的な調律・調整などのメンテナンスをしっかりと行うことによって、長期間の使用が可能です。ピアノに対する愛着も沸き、家族の一員として長くお付き合いいただけます。



## 耐久年数

### 耐久年数は限られる

電子ピアノはやはり電化製品であるため、耐久年数もある程度限られます。また、レッスン開始から約2〜3年でピアノでの練習が必要(バイエル後半程度)になり、買い換えなければならなくなってしまいます。

